



2016年3月期(平成27年度)  
第3四半期決算説明資料

2016年2月9日

**ダイキン工業株式会社**

## ■ 第3四半期全社業績



空調事業は、北米での暖冬や日本での建築着工の伸び悩みなど需要が厳しさを増すなか、中国で住宅用マルチエアコンの成長を持続、アジアや欧州でも販売を大きく拡大。トータルコストダウンの推進に加え、資源価格下落の効果も取り込み、3期連続最高益を達成。第3四半期決算が順調な進捗となったことから、年間計画は変更しない。

(単位:億円)	3Q累計(4-12月)			2015年度年間計画	
	2014年度	2015年度	前年比	11月公表	前年比
<b>売上高</b>	14,327	<b>15,517</b>	<b>108%</b>	20,900	109%
<b>営業利益</b> (利益率)	1,492 (10.4%)	<b>1,666</b> (10.7%)	<b>112%</b>	2,120 (10.1%)	111%
<b>経常利益</b> (利益率)	1,549 (10.8%)	<b>1,646</b> (10.6%)	<b>106%</b>	2,100 (10.0%)	108%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (利益率)	939 (6.6%)	<b>1,068</b> (6.9%)	<b>114%</b>	1,300 (6.2%)	109%

USドル/円  
ユーロ/円  
中国元/円

¥107      ¥122  
¥140      ¥134  
¥17.3      ¥19.3

¥120  
¥133  
¥19.2

○為替影響(対前年度)  
売上高: +760億円  
営業利益: +35億円

○営業利益増減分析(3Q累計 対前年度)  
【内訳】 為替影響  
          拡販・売価  
          コストダウン・固定費ほか

+174億円  
+35億円  
+15億円  
+123億円

# ■セグメント別第3四半期業績



(単位:億円)		3Q累計(4-12月)実績			2015年度年間計画	
		2014年度	2015年度	前年比	11月公表	前年比
全社	売上高	14,327	15,517	108%	20,900	109%
	営業利益 (利益率)	1,492 (10.4%)	1,666 (10.7%)	112%	2,120 (10.1%)	111%
空調	売上高	12,955	13,985	108%	18,600	109%
	営業利益 (利益率)	1,374 (10.6%)	1,524 (10.9%)	111%	1,870 (10.1%)	110%
化学	売上高	1,019	1,182	116%	1,720	115%
	営業利益 (利益率)	102 (10.0%)	124 (10.5%)	121%	210 (12.2%)	127%
その他	売上高	353	349	99%	580	106%
	営業利益 (利益率)	16 (4.5%)	18 (5.1%)	111%	40 (6.9%)	112%

# ■地域別売上高の推移-空調事業



(単位: 億円) ※パーセンテージは前年比

	2011年度1-3Q		2012年度1-3Q		2013年度1-3Q		2014年度1-3Q		2015年度1-3Q		2015年度計画	
日本	107%	2,838	108%	3,055	105%	3,201	97%	3,098	99%	3,077	102%	4,200
ヨーロッパ	94%	1,483	88%	1,302	130%	1,692	101%	1,705	110%	1,881	108%	2,450
中国	120%	1,475	109%	1,610	148%	2,382	110%	2,632	103%	2,701	104%	3,300
アメリカ	105%	709	107%	762	365%	2,782	118%	3,281	116%	3,790	116%	5,100
アジア	104%	847	113%	956	140%	1,339	115%	1,537	114%	1,746	115%	2,430
オセアニア	83%	250	100%	250	122%	305	106%	324	109%	353	105%	460
中近東	130%	169	141%	238	135%	322	95%	305	117%	356	115%	550
アフリカ	92%	47	98%	46	150%	69	107%	74	110%	82	104%	110
計	105%	7,818	105%	8,219	147%	12,092	107%	12,955	108%	13,985	109%	18,600

海外売上高比	64%	63%	74%	76%	78%	77%
USドル/円	¥79	¥80	¥99	¥107	¥122	¥120
ユーロ/円	¥111	¥102	¥132	¥140	¥134	¥133
中国元/円	¥12.4	¥12.7	¥16.2	¥17.3	¥19.3	¥19.2

# ■地域別売上高の推移-化学事業



(単位:億円) ※パーセンテージは前年比

	2011年度1-3Q		2012年度1-3Q		2013年度1-3Q		2014年度1-3Q		2015年度1-3Q		2015年度計画	
日本	102%	348	89%	309	88%	272	97%	263	110%	289	105%	415
アメリカ	108%	205	102%	210	121%	255	107%	272	114%	309	118%	505
中国	152%	201	84%	170	141%	239	109%	260	101%	264	104%	355
アジア	148%	113	67%	76	130%	99	110%	109	124%	135	119%	200
ヨーロッパ	110%	77	96%	74	130%	97	111%	107	165%	177	155%	245
その他	120%	9	122%	11	199%	21	36%	8	107%	8	—	—
計	117%	953	89%	851	115%	982	104%	1,019	116%	1,182	115%	1,720
海外売上高比	64%		64%		72%		74%		76%		76%	
USDル/円	¥79		¥80		¥99		¥107		¥122		¥120	
ユーロ/円	¥111		¥102		¥132		¥140		¥134		¥133	
中国元/円	¥12.4		¥12.7		¥16.2		¥17.3		¥19.3		¥19.2	

## ■部門別業績の概況-空調事業



### 日本

住宅用の業界需要は、夏場の天候不順と暖冬の影響を受け、前年並みとなった。  
(前年比100%)

業務用の業界需要は、建築着工の伸び悩みや省エネ法改正による駆け込み需要の反動により、前年を下回った。(前年比92%)

当社は、業務用需要が低調に推移するなか、『うるさら7』や『FIVE STAR ZEAS』など、住宅用・業務用ともに高付加価値商品の拡販に努め、前年並みの売上高を確保した。

#### <業界・当社出荷状況>

(前年比)		上期実績	1-3Q実績	年間計画
住宅用	業界	99%	100%	97%
	当社	102%	104%	103%
業務用	業界	92%	92%	96%
	当社	90%	90%	97%

# ■部門別業績の概況-空調事業



## 北米

- ダクトレスは、VRV新商品など商品ラインアップを拡充。市場別、販路別の営業強化を図り、住宅用・業務用ともに拡販。
- 住宅用ユニタリーは、前期の省エネ規制値引き上げに伴う駆け込み需要の反動減に加え、暖冬による暖房需要減少の影響を受け、前年を下回った。
- アプライドは、チラーやエアハンドリングユニットを中心とした高付加価値商品を拡販。サービス事業も強化し、売上高を順調に拡大。

<製品別販売状況(台数ベース)>

(前年比)		上期実績	1-3Q実績	年間計画	
				需要	当社
ダクトレス	住宅用(RA)	135%	142%	117%	143%
	業務用	SKY	102%	108%	108%
		VRV	101%	110%	114%
住宅用ユニタリー		97%	91%	101%	97%
アプライド		110%	112%	105%	115%

※SKY・・・中小型パッケージエアコン  
 ※VRV・・・ビル用マルチエアコン  
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

## 中国

大型投資・不動産物件の減少など厳しい事業環境が続くが、当社は、底堅い個人消費を取り込むため小売・街売に注力。

第3四半期以降、販売が回復基調にあることに加え、新商品投入による売価維持、部品の内作化などを軸としたコストダウンの推進、市況軟化や円安効果も取り込み、売上高・営業利益ともに前年を上回った。

- 住宅用市場は、小売・街売向け専売店「プロショップ」の強みである提案力・工事力を生かし、顧客に様々な生活スタイルを提供する「ニューライフマルチシリーズ」を拡販。需要が好調な中高級住宅市場で住宅用マルチエアコンの販売が前年を上回り、住宅用市場全体の第3四半期(10-12月)の売上高は前年を上回った。
- 業務用・アプライド市場では、景気悪化の影響を受け売上高は前年を下回ったが、比較的需要が堅調な店舗・一般事務所の改装ニーズの取り込みを図った。

<市場別販売状況[売上高(現地通貨)ベース]>

(前年比)	上期実績	1-3Q実績		年間計画	
			円ベース	需要	当社
住宅用※	97%	99%	110%	92%	100%
業務用	84%	85%	95%	85%	88%
アプライド	86%	89%	99%	80%	87%

※住宅用マルチエアコン含む



# ■ 部門別業績の概況-空調事業



## 欧州 (トルコ、中近東、アフリカを含む)

住宅用は、猛暑による需要増を取り込み、下期においても出荷が好調に推移。業務用・暖房事業も堅調に推移し、地域全体の売上高は前年を大きく上回った。

- 住宅用は、これまでの販売網強化の成果に加え、現地生産の強みを生かすタイムリーな商品供給により、イタリア・スペイン・中欧を中心に好調に推移。
- 業務用は、建築需要の減速が見られるなか、販売店開発、訪問強化によるきめ細かな受注活動を進め、前年を上回った。
- 暖房事業は、ヒートポンプ式住宅温水暖房機で、フランスやイギリスにおける環境規制強化による需要拡大を捉え、販売を伸ばした。

<製品別販売状況(台数ベース)>

(前年比)		上期実績	1-3Q実績	年間計画	
				需要	当社
住宅用(RA)		134%	143%	93%	115%
業務用	SKY	102%	102%	100%	114%
	VRV	107%	104%	103%	111%
暖房		113%	109%	106%	114%
アプライド		107%	106%	103%	120%

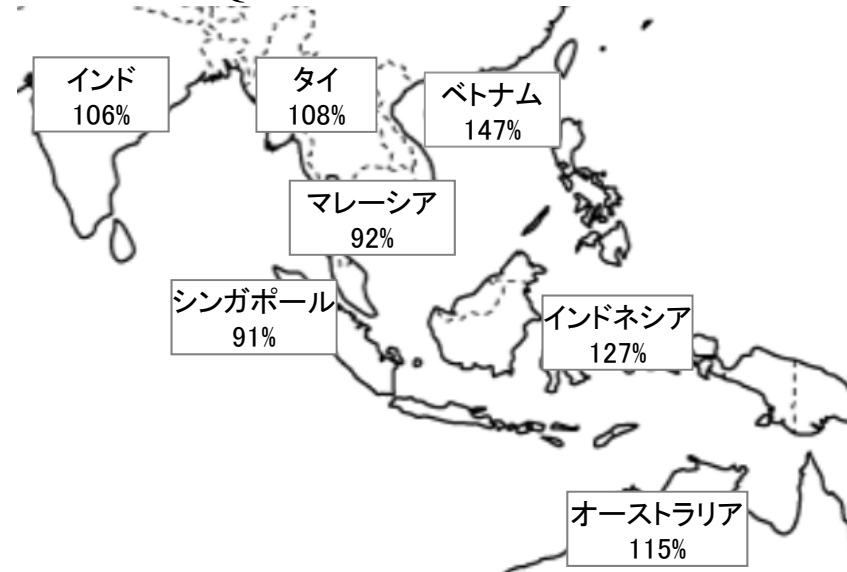
※SKY・・・中小型パッケージエアコン  
 ※VRV・・・ビル用マルチエアコン  
 ※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

## アジア・オセアニア

販売網拡充を引き続き強力に推進し、冷房専用インバータ機など各国のニーズに合った省エネ商品の投入により、地域全体の売上高は前年を大きく上回った。

- 中間層の拡大で需要が伸びるベトナムを中心に販売を拡大。販売力改革を進めてきたオーストラリアでも販売が伸長。
- 需要が厳しいシンガポール・マレーシアでも販売回復に努めた。
- 販売拡大に加え、高付加価値商品（冷房専用インバータ機、業務用VRVなど）の構成比アップ、トータルコストダウンの推進により、為替変動の影響を受けるなかで収益力を強化。

<主要国の1-3Q売上高前年比(現地通貨ベース)>



## ■ 部門別業績の概況-化学事業



半導体向けフッ素樹脂や表面防汚コーティング剤など好調分野で販売を拡大。中国の需要減速、米国での販売価格下落など、事業環境は厳しさを増すなか、固定費削減、製造コストダウン、在庫削減を推進し、増収増益。

- フルオロカーボンガスは、中国現地エアコンメーカー向けの販売が減少したが、ソルベイ社より買収した欧州ガス事業が加わり、前年を上回った。
- 樹脂・ゴム
  - ーフッ素樹脂は、中国・米国で汎用品での売価下落の影響を受けたが、日本・アジアを中心に半導体関連の需要が好調に推移し、前年を上回った。
  - ーフッ素ゴムは、欧州・米国・アジアなど自動車向けの販売が伸長。
- 化成品は、撥水撥油剤やスマートフォン向け表面防汚剤(オプツール)で販売を伸ばした。

<製品別販売状況(売上高ベース)>

(前年比)	上期実績	1-3Q実績	年間計画	
			需要	当社
全フッ素化学品	119%	115%	103%	118%
ガス	168%	179%	103%	147%
樹脂・ゴム	112%	107%	102%	114%
化成品ほか	118%	117%	103%	116%

## ■ 設備投資、減価償却費、研究開発費



(億円)	2014年度実績		2015年度	
	1-3Q	年間	1-3Q実績	年間計画
設備投資	577	680	829	1,200
減価償却費	383	540	431	610
研究開発費	318	430	349	460



# ダイキン工業株式会社

## 予測に関する注意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い致します。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。